

## いわての社会・県民を薬物乱用から守るために

最近の国内の薬物乱用状況は、覚醒剤や大麻による事犯が後を絶たず、再犯者の割合が上昇しているほか、危険ドラッグを使用した者が交通死亡事故を発生させるなど、薬物乱用の一般住民や若年層への広がり懸念されるとともに、深刻な社会問題となっています。

岩手県の薬物乱用の状況をみると、覚醒剤事犯及び大麻事犯は横ばい傾向にあるものの、依然として憂慮すべき状況が続いています。

このため、岩手県においては、岩手県薬物乱用対策推進本部に参集する国、岩手県及び県内の関係機関・団体が連携して、情報収集、監視指導、取締り、相談体制の充実、そして青少年をはじめとする県民に対する正しい知識の普及啓発など、総合的な対策を推進してきたところであり、今後も関係機関が一丸となって、薬物乱用防止に取り組んでいく決意です。

しかしながら、薬物乱用を撲滅するためには、県民の皆さん一人ひとりが、薬物の恐ろしさを十分に認識し、覚醒剤、大麻、危険ドラッグなど乱用される危険のある薬物に近づかないようにするとともに、地域社会において薬物乱用を排除するための働きかけ、環境づくりが必要です。

ここに、岩手県薬物乱用対策推進本部を構成する機関・団体は、皆さんの良識と勇気ある行動に期待するとともに、岩手県民の一人ひとりを薬物の乱用による健康被害から守っていくことをアピールします。

平成 27 年 5 月

岩手県薬物乱用対策推進本部

### 岩手県薬物乱用対策推進本部

本部長：岩手県副知事      副本部長：岩手県保健福祉部長

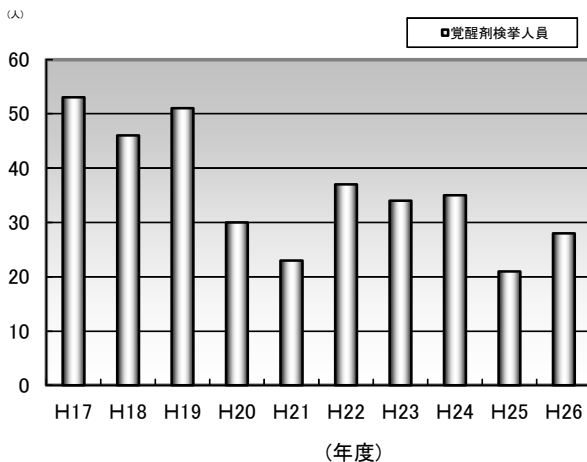
本部長：盛岡地方検察庁次席検事、盛岡少年鑑別所長、盛岡保護観察所長

仙台入国管理局盛岡出張所長、大船渡税関支署長、釜石海上保安部長、岩手労働局長  
(一社)岩手県医師会長、(一社)岩手県薬剤師会長、岩手県精神保健福祉協議会長

岩手県総務部長、岩手県環境生活部長、岩手県商工労働観光部長、岩手県医療局長

岩手県教育委員会教育長、岩手県警察本部長

覚醒剤事犯状況(岩手県)



大麻検挙状況(岩手県)

